

Press Release

2005年3月14日

大日本インキ化学工業株式会社

ベトナムにおける印刷インキ会社の設立について

大日本インキ化学工業株式会社（DIC、本社：東京都中央区、社長：小江紘司）は、このほどベトナムにおいて印刷インキの生産・販売を行う新会社、DIC ベトナム（DIC Vietnam Ltd.）を設立しました。資本金は100万USドル（約1億円）、ホーチミン市郊外にあるベトナム・シンガポール工業団地（VSIP）内に年産能力3,000トンの印刷インキ工場を建設し、今秋に稼働を開始する予定です。

ベトナムは、政府の市場開放政策（ドイモイ）の下、安価で良質な労働力を武器に、東南アジアにおける輸出加工基地としての地位を急速に固めつつあります。特に一昨年のSARS騒動以降、中国への過度の依存に対する警戒感から、日本や欧米、台湾などの企業の進出が加速しています。このような状況の下、国民の生活水準も上昇しており、食料品・日用品の需要が増加し、パッケージ印刷の需要も旺盛になっています。パッケージ印刷に使用されるグラビアインキについても年率10%もの高い伸びを見せています。

当社は現在、ベトナム市場についてはマレーシア、シンガポールの印刷インキ生産拠点からの輸出で対応しており、グラビアインキおよびオフセットインキの両分野でマーケットリーダーとして市場を牽引しています。特に種類別で市場の過半を占めるグラビアインキでは、当社は推定で約30%のシェアを有していますが、ここ数年、日本、韓国、台湾などの競合メーカーが次々と現地での生産体制を確立しつつあり、競争が一層激化しています。

このたびの新会社は、グラビアインキを中心とした現地生産体制を確立することにより、輸出のため対応が難しかった技術サービスの強化や高品質製品の投入などユーザーの要望に応えるとともに、新規開拓を進め、成長市場で確実に事業を拡大していくことを目指して設立したものです。

当社は新会社設立により、既存ユーザーへの迅速な対応や新規ユーザーの獲得がさらに促進されるものと見込んでおり、現地での知名度と品質信頼度を活かして2008年に約10億円の売上を目指しています。

以上

本件に関するお問い合わせ 広報・IR部 TEL 03-5203-7838